



# るびなす便り

第18号 平成26年 4月25日 発行



## ■ すべての利用者に計画相談を

平成15年に、障がい福祉サービスの利用について、それまで行政処分として位置付けられていた措置制度から、利用者自らがサービスを選択し利用することを基本とした利用契約制度に変わって10年が経ちました。

しかし実際には、障がい者の多くは自らサービスを選択するといっても、どこにどんなサービスがあるのか、また使いたいと思っているサービスは本当に自分にあっているのか、さらに今使っているサービスよりもっと良いサービスはないのかなど、適切な判断をすることが極めて困難です。

それだけに利用者本人に寄り添って、サービスについての情報を十分に提供し、本人の意思に沿ってサービスを選択し、そしてどのサービスをどのくらい利用するかといった計画を本人と一緒に作成するサービス等利用計画は、障がい福祉サービス利用者全員に絶対になくってはならない仕組みなのです。

にもかかわらず、平成25年12月末現在の計画相談支援都道府県別進捗率は、サービス等利用計画については全国平均23.9%、北海道平均20.3%、また障がい児通所支援計画については、全国25.2%、北海道22.7%に止まっています。

これらをトータルで見ますと、北海道は20.3%と全国平均を大きく下回っています。しかし胆振管内11市町村に限ってみると36.3%となっており、全国平均や北海道平均を大きく上回る数値となっています。さらに11市町村の作成率を比較してみますと、作成率59.1%と既に熱心に取り組んでいる市もありますが、未だに作成率0という町もあり、市町村によって極めて大きなばらつきがあります。

総体的に見て、なぜサービス等利用計画の作成率がこんなにも低い数値に止まっているのでしょうか。それには2つの理由が考えられます。一つは、市町村が「相談支援事業所が足りないで計画作成を依頼できない」、二つ目は相談支援事業所が「市区町村が計画作成の指示を出さないで進まない」ということです。

平成27年度から、原則的には障がい福祉サービスの利用にあたって、全員に対してサービス等利用計画の提出が求められることとなります。利用者がサービスを受けられないといった事態を絶対に引き起こさないために、関係者一丸となつての努力が求められています。



センター長 小林

## ■ 平成25年度 活動実績 について

るぴなすは、平成17年7月から「胆振圏域障がい者総合相談支援センター事業（障がい者総合相談支援拠点整備事業）」を北海道胆振総合振興局から受託し、地域生活支援体制の構築に向けた活動（支援業務）を行いました。

そして、平成21年4月からは「広域相談支援体制整備事業（胆振圏域）」として、「障がいのある方が希望する地域で安心して生活する」ことができる支援体制の構築を中心とした地域づくり業務を広域的に展開しています。

平成25年度は、11市町ごとに支援方針を作成した上で「定期訪問や個別事例の対応への助言・情報提供、担当者情報交換会・研修事業の開催、関係会議への出席」等の活動を行いました。

主な活動実績は次のとおりです。



### 1 定期訪問

内容 担当する11市町への支援として、相談支援体制や地域課題の把握等を行いました。

実績 【述べ44回（年4回×11市町）】

### 2 担当者情報交換会

内容 各分野の充実に向けた取組みとして、担当者を対象として7月と2月に開催しました。

実績 【各2回137名】 ※市町障がい福祉（39名）、相談支援（56名）、子ども発達支援（42名）

### 3 東胆振圏域5市町生活支援ネットワーク会議

内容 東胆振圏域5市町の担当職員を対象として、情報提供や情報交換、事例検討を行いました。

実績 【全4回37名】（第1回4/17厚真町10名、第2回7/16白老町10名、第3回10/15安平町8名、第4回H26/1/21むかわ町9名）

### 4 地域自立支援協議会のオブザーバー出席 【延べ38回】（部会等を含む）

・西胆振圏域29回（室6、登2、伊15、豊1、壮2、洞3）、東胆振圏域9回（苫6、白3）

### 5 対応困難事例に係る助言

内容 相談支援担当者等からの相談について、対応への助言や社会資源の情報提供を行いました。

実績 【述べ42件】 ※個別支援は除く ・西胆振＝15回、東胆振＝27回

### 6 研修事業の開催

内容 支援者や家族を対象に、専門的知識や支援技術の向上とともに普及啓発を行いました。

実績 【8研修、12開催、延べ394名】 ※自閉症講座 基礎コース（伊達会場）、障がい福祉基礎講座等

### 7 各種研修会への協力（講師対応）

内容 相談支援従事者研修や障がい程度区分認定調査員研修、他圏域への協力等を行いました。

実績 【述べ21回派遣】

関係機関や団体の皆さまにお力をお借りしながら、活動することができました。

この場を借りて、深くお礼申し上げます。



地域づくりコーディネーター 岩森

## ■ 平成26年度 活動計画 について

前年度同様に、11市町ごとに支援方針を作成し、支援方針に基づいた支援活動を行います。  
また、平成27年4月以降は「サービス等利用計画（障がい児支援利用計画）の作成」が行えるように体制整備への支援を行うとともに、支援体制の充実に資する研修事業（るびなす研修）を開催します。

主な内容は、次のとおりです。



### 1 市町への支援

- (1) 担当する市町への定期訪問（年4回）
- (2) 地域自立支援協議会への運営支援及びオブザーバー出席
- (3) 担当者情報交換会の開催（各年2回） ※市町障がい福祉・相談支援・子ども発達支援
- (4) 東胆振圏域5市町生活支援ネットワーク会議の開催（年4回）
- (5) 相談支援担当者等からの相談への支援（関係機関等への対応）
- (6) 各種研修会への協力
- (7) 関係会議への出席
- (8) 各種一覧の作成・発行
- (9) 必要な情報提供・情報発信
- (10) 地域生活移行のための市町村の体制づくり
- (11) 基幹相談支援センターの設置・運営等への支援



担当者情報交換会の様子

### 2 圏域内の相談支援体制の充実等

- (1) 条例に基づく障がい者が暮らしやすい地域づくり委員会の事務局への参画
- (2) 研修事業の開催 ※自閉症講座基礎コース 苫小牧会場（全7回）等
- (3) 胆振圏域障がい者ケアマネジメント連絡協議会の実施（登別市） ※事務局
- (4) 道の研修（相談支援従事者研修関連）実施協力
- (5) 地域生活移行促進のための圏域間調整等の実施

### 3 北海道の障がい者福祉に関するシステムづくり

- (1) 北海道胆振総合振興局や他圏域の地域づくりコーディネーターと連携し業務を行う。

以上の活動内容を中心に業務を行いますが、地域づくり（相談支援や障がい福祉の充実）に求められるお手伝い（支援業務）を柔軟に行いたいと思います。

ご相談等がありましたらお気軽にお問合せ願います。

ご理解とご協力を宜しくお願い致します。



地域づくりコーディネーター 岩森

## ■平成26年度 るぴなす研修 について

るぴなすでは、支援者の専門的知識や支援技術の向上を図るため、関係機関や団体と連携し研修事業を実施しています。昨年度は、8研修（講座）、12開催、延べ394名の方に受講して頂き、今年度は7研修（講座）15開催を予定しています。

主なプログラムは、次のとおりです。 ※研修種類・開催日順



1 自閉症講座 基礎コース（苫小牧会場） （全7回、4日間、6/21～10/18）

### 2 支援者向け研修

【プログラム1】「面談の技術」

5月13日（火）11：00～16：30 白老町

【プログラム2】「発達障がいへの支援」

6月19日（木）16：00～18：00 伊達市 6月20日（金）16：30～18：30 白老町

【プログラム3】「発達障がい支援の理解と家族に寄り添った支援を考える」

7月10日（木）14：00～16：30 室蘭市 7月11日（金）10：00～12：30 苫小牧市

【プログラム4】「相談支援に関するフォローアップ研修」

7月17日（木）14：00～16：30 苫小牧市 7月18日（金）10：00～12：30 伊達市

【プログラム5】「相談支援専門員とサービス管理責任者のためのスキルアップ研修」

8月30日（土）13：30～16：30 伊達市 8月31日（日）9：30～12：30 苫小牧市



昨年度の様子（面談の技術）

### 3 家族向け講座

「発達障がいのはじめの一步」

6月19日（木）10：00～12：00 伊達市 6月20日（金）10：00～12：00 むかわ町

詳しくは、開催要綱（プログラム）をご確認願います。また、開催要綱・申込書は、るぴなすのホームページからダウンロードできます。 <http://www.dofukuji.or.jp/lupinus/>

## ■平成26年度スタッフ体制（地域づくりコーディネーター）

センター長 小林 ※地域移行支援体制整備事業担当

東胆振圏域担当 岩森（社会福祉士、精神保健福祉士）

西胆振圏域担当 國松（社会福祉士）



あい・ぷらざ（建物）

## ■あとかき

今年度は体制が大きく変わり、センター長を含め男性3名体制になりました。私も4月から右往左往しながら仕事をしていますが、早く暖かにならないかな？と毎日震え(?)ながら、少しでも早く仕事を覚えたいと思います。 國松

## ■発行■

### 広域相談支援体制整備事業（胆振圏域）

社会福祉法人 北海道社会福祉事業団  
胆振圏域障がい者総合相談支援センターるぴなす  
〒052-0014 北海道伊達市舟岡町334番地9  
あい・ぷらざ1階  
電話・FAX 0142-22-3200

